



野中春花
近藤実可子
大方美穂

卒業生
の仕事

hickory03travelers

information

長岡造形大学は
2014年4月公立大学へ
移行予定です



卒業生
の仕事

野中春花
近藤実可子
大方美穂

hickory03travelers

「日常を楽しもう」をコンセプトに、様々な「モノ」や「コト」をクリエイトする集団によるショップ
「hickory03travelers (ヒッコリースリートラベラーズ)」
こちらのお店で働く卒業生3人をご紹介します!

の なか はるか
【野中春花について】

2010年 卒業
専攻：写真・映像

商品の発注や仕入れ、店舗2階で行う企画展でのグッズ販売やミュージアムショップ「ルルル」▶(「ルルルについて」を参照)で販売する商品に関することに携わっています。店舗で扱っている商品をホームページなどで紹介する時の写真撮影も担当しています。



学生の時に授業で聞いた「デザインって日常を楽しむもの」「生きているってデザインがあるからおもしろい」という言葉が印象に残っています。「hickory03travelers」のテーマも「日常を楽しもう」なので、何かつながるものを感じています。



野中さんが撮影した商品の画像

「hickory03travelers」は「作り手の顔が見える」というのがおもしろいと思います。お客様のなかではスタッフのファンになって商品を購入してくれる方もいます。

の こんどう みかこ
【近藤実可子について】

2011年 卒業
専攻：テキスタイルデザイン (織)



主な担当はTシャツのプリントです。夏はTシャツのプリントで忙しく、空いた時間などにTシャツだけでなく、様々なデザインを考えています。他にもブライダルの引き出物のタオルなどのプリントをしたり、お客様から注文のあったオリジナルTシャツのプリントもしています。



「hickory03travelers」では他では出来ない、いろいろなことが出来るのが魅力です。楽しいとかつらいとかは今では考えられないですが…普段は販売をして、時期になると作品を発表できる場▶(「春山登山展について」を参照)がある今の環境はありがたいです。

自分がデザインしたものを、お客様が気に入って購入してくれるのはうれしいですね。



【大方美穂について】

2011年 卒業
専攻：テキスタイルデザイン（染）

お店でお客様に商品の説明を行ったり、ブライダルの引き出物などの受付やイラストを描くことを中心に行っています。

ブライダルの受付を行う時はしっかりとお客様の意見や引き出物のイメージを確認して、コミュニケーションをとるように心がけています。新潟県のショップですが、全国各地からお問い合わせをいただきます。



オリジナルTシャツ制作のチラシ

ブライダルの席次表に小さなイラストを描いたりすることもあります。入社2年目ですが、自由にイラストを描かせてもらえるのが楽しいです。



春山登山展 2013
スタンプラリー紹介のイラスト

今のイラストの雰囲気になったのが大学の時で、ゆっくりと時間をかけて自分の描きたいイラストを大学で見つけることができました。

hickory03travelers (ヒッコリースリートラベラーズ) について



<主なお仕事>

イラスト／グラフィックデザイン／オリジナルTシャツ制作／ブライダルギフト制作／ロゴ・チラシ制作／グッズ制作／ブランディング／アート活動・企画／空間デザイン／ショップ運営／写真／商店街を楽しむ活動等…

住所：新潟県新潟市中央区古町通3番町556

<http://www.h03tr.com>



大方美穂作品

「春山登山展について」

「新潟の春がもっと楽しくなりますように」というテーマで「hickory03travelers」が年1回行っているアートフェスティバル。若手作家が1人1部屋ずつ個性的な空間で展示を行い、卒業生の3人も作品を出展しています。



野中春花作品



近藤美可子作品

近藤さんデザインの
「花咲くお茶缶」



新潟市美術館ミュージアムショップ 「ルルルについて」

「hickory03travelers」がデザインと企画運営を担当している新潟市美術館（新潟県新潟市）のミュージアムショップ。企画展のグッズや「hickory03travelers」がデザインしたグッズを販売しています。



授業ピックアップ

NIDの授業について、
学生に紹介してもらいました！

1年生 前期

基礎造形実習 I

「カッコいいものを作ろう！」と心がけながら制作しています。

作業中は学科関係なく、周りの友達と互いに教え合いながら制作しています。

授業の時間以外でも、アトリエで集中して作業が出来るのもうれしいです。



プロダクトデザイン学科 1年
柿村 千佳 さん

設計図を基に、グライダーを制作していく課題に取り組んでいます。技術が必要になる作業がたくさんあり難しいですが、楽しみながら制作しているので作業は苦になりません。



手を動かす作業が多いため、課題が本当に楽しいです。
今度は時間をみつけて、課題でもらった端材を使い、ミニチュアハウスを作りたいですね。



2年生 前期

視覚デザイン基礎演習

「言葉とビジュアル」という課題に取り組んでいます。

写真を見て、そこからは思い浮かばないような「一言」を写真にプラスして、写真をユーモアのあるものに変えていくという、アイデア出しの課題です。

写真と関連づく言葉はすぐに思い浮かびますが、意外な言葉などはなかなか思いつかなくて…その中で、ユーモアを作品に与えることの難しさを感じています。



1年生の時は基礎が多く、手本や完成図の見える課題が多かったのですが、2年生になると「先生たちを驚かせて欲しい」と言われたり、意外性のあるアイデアを求められたりと、完成図のない課題が多くなりました。今までにはないデザインを生み出すために、発想力を鍛えていくことの大切さを感じています。



視覚デザイン学科 2年
曽原 彩子 さん

3年生 前期

絵画演習 I



「私の樹」というテーマの課題に取り組んでいます。目隠しをして選んだ樹を、視覚を使わず触覚・嗅覚・聴覚などを頼りに観察し、そこから感じたもので作品を作ります。みんなテーマは共通ですが、表現方法も作品形態も自由でバラバラです。



絵画の授業は自由度が高くて面白いです。今回の課題では、自分が普段どれだけ視覚に頼って対象物を見ているのか、再認識させられました。アイデアはたくさん浮かんでいるので、油彩でももう1作品作りたと思っています。

美術・工芸学科 3年 絵画コース
澁谷 萌生 さん

4年生 通年

卒業研究

街と関係性を持った駅をデザインするための研究をしています。駅という建物が、周囲の街や地域と結びつかない関係にあるものが多いということに着目し、研究テーマとしました。周りの地域・自然環境などを絡めて、新しい駅という場所を提案したいと考えています。



まず自分のテーマに近いものを探すため、宝積寺駅^{ほしくじえき}（栃木県）や日立駅（茨城県）など、各地へ取材に行きました。調査した内容は研究室で発表し、先生や研究室の学生と意見を出し合いながら、今後どのように進めていくのか考えます。



宝積寺駅（ほしくじえき）撮影：小林健太



まだ卒業研究のスタート段階ですが、今まで学んできて思うことは、気になるものは実際に自分で足を運び、見てくるのが大切だということ。今の時代はWebでも簡単に調べて見ることが出来てしまっていますが、画面と実物では大違いです。実際に見て感じた体感が自分の中に宿り、それが自分の研究やデザインにつながっていくと感じています。

建築・環境デザイン学科 4年
建築デザインコース 川口とし子研究室
小林 健太 さん



TOPICS

2013
5月

レモン展 レモン賞 / 審査委員賞受賞

第36回学生設計優秀作品展「レモン展」(学生設計優秀作品展組織委員会/レモン画翠主催)で、立川巧雪さん(建築・環境デザイン学科卒)の卒業研究作品が、レモン賞と審査委員賞を受賞しました。

2013
5月

県展 振興賞 / 奨励賞受賞

第68回新潟県美術展覧会「県展」彫刻部門で、荒木奈々さん(美術・工芸学科4年)の作品が振興賞を、高村美咲さん(美術・工芸学科4年)の作品が奨励賞を受賞しました。

2013
4月

メディ∞キャン オープン!

新潟日報社新社屋メディアシップ(新潟県新潟市)内に、長岡造形大学、新潟青陵大学、新潟薬科大学、新潟青陵大学短期大学部合同のキャンパス「メディアキャンパス(愛称:メディ∞キャン)」がオープンしました。



メディ∞キャンのオープンを記念し、4月20日(土)・21日(日)の2日間、参加4大学によるオープンキャンパスが開催され、各大学の特色・魅力を体験できるプログラムが実施されました。

4月30日(火)–5月5日(日)には、「デザイン・アートミュージアム 長岡造形大学作品展」が開催されました。会場には学生の演習作品を中心に、本学で学べるあらゆる分野の作品が展示され、会期中は多数の方に足を運んでいただきました。



2013
4月

「ダイばん！」 放送スタート!

大(ダイ)学生が参加する番(ばん)組、「ダイばん!」の放送がスタートしました。ダイばん!はメディア∞キャンに参加する各大学の学生たちによる番組で、メディアシップ1階に設置されている、BSN新潟放送サテライトスタジオから毎週土曜日に生放送されています。



本学からは映像専攻の学生たちを中心に番組制作に参加しています。企画からロケハン、撮影、インタビュー、レポート、編集まで、ヨールグ・ビューラ教授(視覚デザイン学科)指導のもと取り組んでいます。

2013
6月

長岡造形大学展示館 オープン!

長岡市で医師の傍ら画家として活躍された故・丸山正三氏の3000点におよぶ油彩・素描作品を展示・収蔵する「長岡造形大学展示館 MaRouの杜」がオープンしました。



展示館は、建築設計を山下秀之教授(建築・環境デザイン学科)が、構造設計を江尻憲泰教授が手掛け、多くの方々の寄付や協力のもと完成しました。開館日には、どなたでもご観覧いただけます。(開館日は本学ホームページでご確認ください)

長岡造形大学は2014年4月公立大学へ移行予定です

information

公立大学法人化について

公設民営方式でスタートした学校法人長岡造形大学は、2014年4月の公立大学法人化を目指しています。

2013年1月には長岡市により「公立大学法人設置準備室」が設置され、公立大学法人化に向け本格的に準備を進めています。今後は2013年12月に新潟県に公立大学法人設立申請、文部科学省に

学校法人解散認可及び設置者変更認可申請を行い、2014年3月に各申請への認可を受けて2014年4月には公立大学法人長岡造形大学が誕生する予定です。

本学と同じ公設民営方式の大学は全国に7校存在していましたが、既に4校が公立大学に移行しています。

2012年11月

公立大学法人化検討委員会より公立大学法人移行について「望ましい」とする報告書がまとめられる。

2013年1月

長岡市により「公立大学法人設置準備室」が設置される。

2013年12月

新潟県に公立大学法人設立申請、文部科学省に学校法人解散等認可申請を行う。(予定)

2014年3月

新潟県より公立大学法人設立認可、文部科学省より学校法人解散等認可を受け、2014年4月には公立大学法人長岡造形大学が誕生する。(予定)



長岡市の広報誌「市政だより」でも取り上げられました。

公立大学法人化でどうなる？

入試

公立大学になる場合でも、2014年3月までは私立大学なので、2014年度入試(2014年4月入学対象)は「私立大学の入試」です。

適性選考入試(AO型) 1次選考と2次選考を行います。

出願書類 + 体験授業 + 面接

推薦入試(公募)

併願可能な推薦入試
※この他指定校推薦については高校に確認してください

出願書類 + 面接

一般入試 実技、小論文のみ

平面構成、鉛筆描写から1科目選択 + 小論文

センター利用入試(前期、後期)

センター試験結果のみ

国語 + 英語 + 選択科目※

※地理歴史、公民、数学、理科から得点上位1科目。
但し、地理歴史、公民、理科は第1解答科目に限る。

2015年度入試(公立大学移行後)については、現在検討中です。

学費

2014年4月からの新生、2年生以上の在學生に公立大学法人としての学費が適用されます。

公立化後 約590,000円(予定)

↑
2012年度実績 1,376,000円

※授業料及び実習費を合わせた金額です。

※この他に入学金(入学時のみ)、保護者会費、校友会費、学生会費がかかります。

施設・設備、教授陣

今まで私立大学として整備してきた充実の施設・設備を公立大学の学費で使用できます。また、教授陣など学生サポート体制もほぼそのままで、さらに強化することを検討しています。

教育研究 質の向上

本学の理念「造形を通して真の人間の豊かさを探求し、社会に還元することのできる創造力を備えた人材を養成する」を実現するために、

- 「社会人基礎力」「構想力」「造形力」の3つの能力修得に向けた、カリキュラムの充実を目指します。
- 企業や地域社会と連携した実践的な教育研究による地域貢献力を、一層強化します。



公立大学法人化 Q&A

Q 公立化により学費が下がる場合、入学手続き時に負担する金額はどうなりますか？

A 公立大学になる場合でも2014年3月までは私立大学なので、この期間に変更した学費を提示することはできません。私立大学の学費相当分を納めてもらい返納する方法もありますが、本学では公立化後の入学金、学費以上には納付してもらわない方向で検討しています。詳細は合格者に送付する「入学手続要項」に記載します。

Q 公立化により入試の倍率が上がるのでは？

A 昨年度の入試から、公立化を見越して受験する受験生も若干見受けられます。また、既に公立大学に移行した4大学も「私立大学の入試制度」ということで志願者が増えました。ただ本学はある程度志願者が絞られる点や、新潟県という地域性からどれだけ倍率が上がるかは未知数です。

Q 入試対策はどのようにすれば良いのでしょうか？

A 適性選考入試(AO型)、推薦入試(公募、指定校※)、一般入試、センター利用入試(前期、後期)の中で、自分はどの入試区分で受験するかを早めに決め、その入試に向けての対策を行うことが必要だと思われます。
※推薦入試(指定校)については高校に確認してください。